

4 議 第 3 4 号

令和4年6月15日

大 町 市 長 牛 越 徹 様

大町市教育委員会教育長 荒 井 今朝一 様

大町市議会議長 二 條 孝 夫

議会との意見交換会で出された意見・要望等について（依頼）

大町市議会では、議会基本条例の規定に基づき、市民との意見交換会を実施していますが、3月17日に美麻地区連合自治会と意見交換会を開催したところ、議会に対し意見・要望等をいただきました。

いただいた意見・要望等について、政策調整委員会にて整理、集約した結果、別紙のとおり議会の意見を付して行政に送付することに決しましたので、行政の見解や対応等について、令和4年6月30日（木）までにご回答いただきますようお願い申し上げます。

なお、いただいた回答は議会だより、ホームページ及び今後の意見交換会の資料として活用する予定ですので予めご承知おきください。

出された意見・要望	市議会の意見	行政の見解・対応
<p>1. 自治会の運営について、人口減少・高齢化によって役員の担い手が不足している。当て職が非常に多く感じていることから、負担軽減の面からも自治会役員の当て職について見直ししてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少、少子高齢化にあり各自治会の負担が増し、また、自治会離れが加速している。自治会における負担軽減、連合自治会における役職、会議の在り方や構成についても、双方協議のうえ、検討が必要である。</li> </ul>	
<p>2. 保育園の運営について、移住者に魅力がある地域の特色を生かした運営ができるようにしてほしい。（「保育園留学」の例など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定住促進の観点も含めた、魅力のある保育園運営について研究が必要であり、市議会においても引き続き研究していく。</li> </ul>	
<p>3. コミュニティ・スクールを保育園まで広げられないか（保・小・中一貫校のような取り組みができないか）研究してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>移住して来られた住民の要望として捉え、市議会においても引き続き研究していく。</li> </ul>	
<p>4. 農業直接支払交付金の制度変更について、延長や見直しをするよう声を上げてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>農業直接支払交付金は国の制度であるが、制度変更となれば、農家にとっては大変厳しい。市としては地元農家の実情を理解し、国へ対応を求められたい。</li> </ul>	
<p>5. 美麻地域づくり会議の事業について、行政からの支援をしてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>美麻地区の文化、生活を維持するうえで、市の進める立地適正化計画においても重要な事業であり、公共性が高い。更なる市の支援を求めるとともに、継続した美麻地域づくり会議との調整を求める。</li> </ul>	
<p>6. 地域おこし協力隊が定住してもらえるよう、地域に根差した仕事をするなど、業務の改善をしてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域おこし協力隊の制度にのっとり、定住につながるよう地域に根差した仕事をするなど、業務の改善が必要。また、議会としても地域おこし協力隊と意見交換する等、今後の展開を見守る必要がある。</li> </ul>	

出された意見・要望	市議会の意見	行政の見解・対応
<p>7. 道路の管理について、民有地からの倒木被害等にも対応できるように、防災の観点からも対応してほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 放棄地など管理不全土地、山林が増えている。民法との整合性を図りながらも、道路管理の面で緊急性や公益性、安全性に鑑み、行政の対応が必要である。</li> </ul>	
<p>8. 空き家対策について、移住者への魅力的な土地提供が可能となるよう補助金の拡充など対策をしてほしい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人口流出に伴い、空き家、空き地が増加し、管理不全不動産が増加している。移住定住施策においても、空き家の活用と並んで、魅力的な土地提供が可能となるよう、解体補助や空き地空き家の情報提供などを図る必要がある。議会としても継続して可能な取り組みを研究する。</li> </ul>	